

事例検討会

～多様な専門職者との協働による高度実践看護～

超高齢社会において、複雑な健康課題や生活課題を併せ持つ人々が増加しており、急性期から在宅まで連続した療養を支えるため高度実践看護師（以下APN）を中心とした多職種協働が求められています。

事例検討会では、2名のAPNによる協働事例の共有、専門分野の異なる参加者によるアセスメントや実践の検討を通して、明日からの看護実践に活かせる視点を得ることを目的とします。

（事例検討会参加者に参加証を発行いたします）

日時 2026年8月1日（土） 13：00～16：00

場所 TKP新大阪カンファレンスセンター  
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-3-39  
J.NODE新大阪（旧名称：新大阪NKビル）4階 ホール4B

事例提供

1. 「自分でしたい」高齢者への予防的支援を支えるチーム間の調整  
神戸市立医療センター西市民病院 老人看護専門看護師 杉原 陽子 さん
2. 高齢脳梗塞患者における胃瘻造設の意思決定支援  
～家族の葛藤に寄り添い、患者の最善を模索するアプローチ～  
尾鷲総合病院 がん看護専門看護師 井上 智恵さん

対象 本学会員（定員50名 先着順）

参加費 無料

参加申込 右記QRコードまたは  
(URL: <https://jaapn.org/information/seminar.html#s260801>)



6/27～申し込み開始

7/24 申し込み〆切

先着50名 事前申込

アクセス

JR東海道本線 新大阪駅 北口 徒歩6分  
大阪メトロ御堂筋線 新大阪駅 4番出口 徒歩5分

【お問い合わせ先】日本高度実践看護学会事務局（[jimu@jaapn.org](mailto:jimu@jaapn.org)）

●教育・研修委員会委員 事例検討担当：岩田友子、細見和加、松村麻衣子、井上 智恵、杉原陽子、河添こず恵、増田誠一郎、笠間秀一、米田昭子